

活性化モデル商店街の概要

商店街名：瀬戸市商店街連合会※、パルティセと店舗会、瀬戸まちづくり株式会社

【※銀座通り商店街振興組合・中央通商店街振興組合・末広町商店街振興組合・效範西部商店街振興組合・品野商店街振興組合】

●キャッチフレーズ

一体感、活気に満ち溢れたおもてなし商店街！

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

店主高齢化・後継者不足等に伴う店舗数の減少と顧客の高齢化に伴う客数の減少により、イベント開催時以外の平常時の賑わいは低迷している。また、イベントにおいても1商店街の取り組みだけでは活気をもたらすことが難しい現状にある。

【課題】

商店街は、特色を生かした独自の祭りやイベントを実施し、まちめぐりの仕掛けや名物・飲食店を盛り上げて情報発信していくことが期待され、各地域のリーダー的存在となる次世代の担い手の育成が求められている。

【対策】

- ・ 空き店舗を減少させ、魅力ある商店街の店舗構成を整えることにより、市内外の誘客を図る。
- ・ 瀬戸市の創業支援施策を活用することで各地域のリーダー的存在となる次世代の担い手を商店街で育成する。
- ・ 消費者のニーズ調査や観光客向けの事業実施で、商店街に訪れた既存・新規顧客の満足度を高める。
- ・ 各商店街等が連携してイベントや企画を催し、商店街等の回遊性を高める。

◎具体的に取組む事業内容

○人材強化事業

- (1) 空き店舗対策事業 (28年度) (2) せとまちチャレンジショップ事業 (29年度～31年度)

○賑わい創出事業

- (1) せとまち情報発信事業！ (30年度、32年度) (2) 一店逸品事業 (31年度)
(3) 地域イベント開催事業 (32年度)

○中心市街地商店街活性化委員会開催事業 (28年度～32年度)